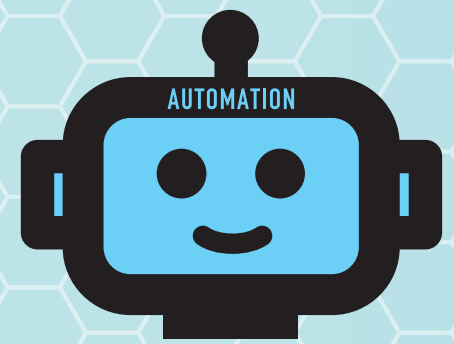




自動化・省人化

AUTOMATION

立体型ソーティングロボットシステム



概要

出荷オーダー数や仕分け先数が多く、特にECの顧客別や細かな店舗別仕分けと、返品仕分けに適した立体型ソーティングロボットシステムです。物量増加時に増台が容易という高い柔軟性を持っており、省スペース、少人数での大量仕分けを実現します。また、ロボット運用の課題となる高さ方向の空間を有効活用でき、床への据付(アンカー)等の造作工事が一切不要です。

特長

簡単導入

- スキャンして投入するだけで誤仕分けゼロ。ベテランと初心者が変わらない生産性で作業可能。
- 据え付け不要で、置くだけで即稼動。設置1日の短リードタイム導入。自社開発システムでらくらく連携。

省スペース

- 省スペース、少人数で大量仕分けを可能に。
- 倉庫運営の課題である高さ方向の空間有効活用が可能。

フレキシビリティ

- 仕分け間口数、縦横高さ「3次元」の仕分け間口サイズが可変。
- 従来のt-Sortと組み合わせた「連携運用」で、更なる大規模仕分け機構も可能。



倉庫内の造作工事は一切不要



床へのアンカー等、倉庫内への造作は一切不要です。固定設備ではないため、移動が可能で現場に合わせてフレキシブルに活用できます。

カート単位でまとめて回収



仕分け完了後は、仕分け箱をカート単位でまとめて回収ができ、仕分け後の作業工程も効率的に運用が可能です。

+Automation

ティーソートスリーディ

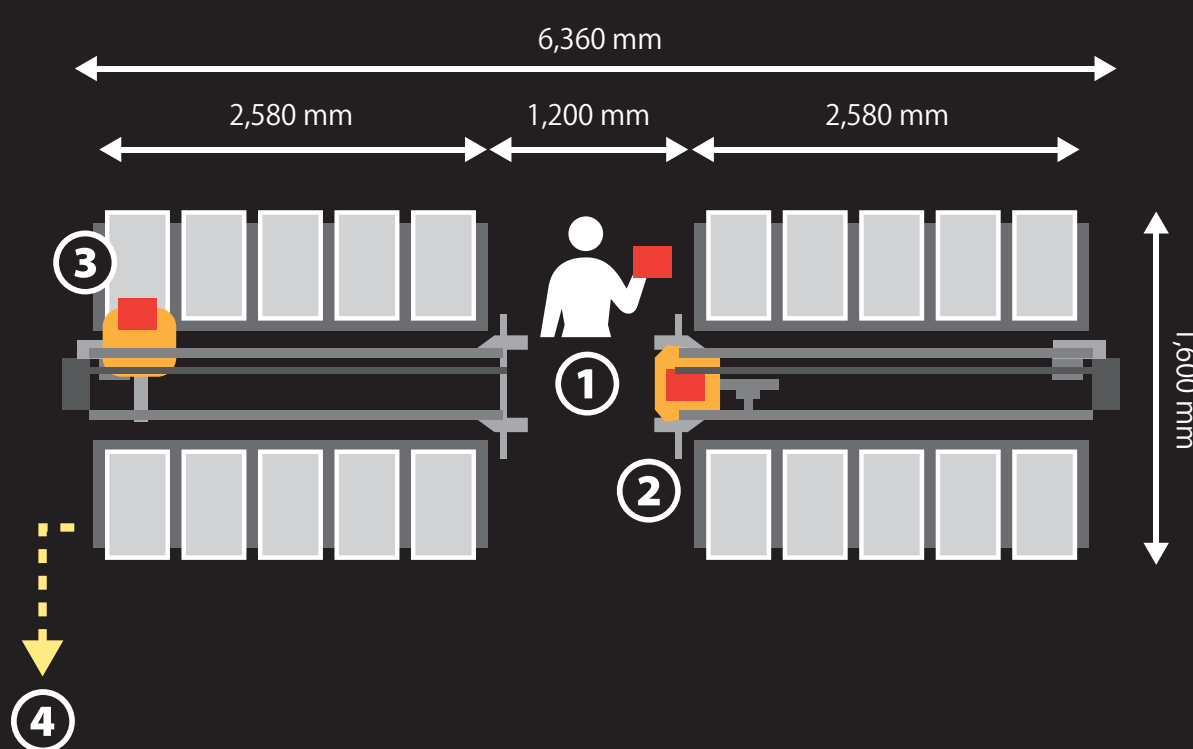
t-Sort 3D

省スペースでの仕分け作業を実現する立体型の仕分けロボットシステム。

運用例



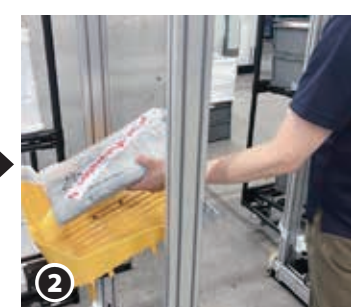
ソリューション例 設置面積: 3坪/シュート数: 60/t-Sort 3D: 1セット
投入口: 2(1人)/処理能力: ~800pcs/時間(2基合計)



〔オペレーションイメージ〕 立体型のロボットにより、省スペースでの仕分け作業を自動化します。



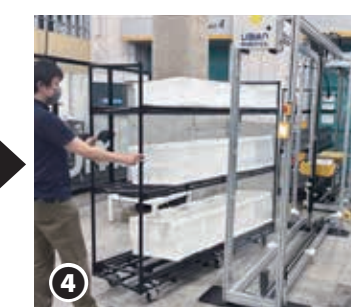
① 商品をスキャン



② フラップに商品を投入



③ 商品をシュート



④ カート単位で回収

カートは3種類から選択可能です。



20間口(5連×4段)のカート(2種類)または、15間口(5連×3段)のカートから選択いただけますので、1セット当たり60間口~80間口確保可能です。20間口のカートは、専用ボックス用、30Lオリコン相当用、15間口のカートは、50Lオリコン相当用になります。

詳しくは
コチラ



その物流に、ジャストソリューション。 TOYOTA L&F